マルチブロック・リードにおける
１　Ｉ/Ｏ当たりのＤＢブロックの読込み個数

マルチブロック・リードにおける１回当たりのＤＢブロックの読込み個数

フルテーブル・スキャンやインデックス・ファストフル・スキャンの時には、Oracle のデータブロックを複数（連続ブロック）まとめて読込む、マルチブロック・リードが行なわれ、読込み効率の向上が図られます

この時の１回のまとめられる読込み量を指定するものが、DB_FILE_MULTIBLOCK_READ_COUNT です

初期化パラメータ：DB_FILE_MULTIBLOCK_READ_COUNT
（ まとめて読込む D/B ブッロックの個数で指定 ）

```
show   parameter   DB_FILE_MULTIBLOCK_READ_COUNT

NAME                                       TYPE        VALUE
------------------------------------------ ----------- ----------------
db_file_multiblock_read_count              integer              128
```

※ ただし、以下のような制約条件がある

制約１.

DB_BLOCK_SIZE × DB_FILE_MULTIBLOCK_READ_COUNT ≦ 1MB

↑　　↓

通常値：8KB　　よって最大値は、1024／8＝128 まで

制約２.

バッファキャッシュの値 ≧ DB_FILE_MULTIBLOCK_READ_COUNT ＊ 4

よって、読込み個数を増やす場合は、バッファキャッシュサイズを増加させる必要がある

マルチブロック・リードの読込みＤＢブロックの個数変更の方法

```
Alter   Session   set   DB_FILE_MULTIBLOCK_READ_COUNT   =   *** ;
```